

2010年8月29日

都道府県知事 殿
政令指定都市市長 殿
中核市市長 殿

動物虐待防止会
代表 青島 啓子

動物行政に関するアンケートご協力をお願い

呈上 私どもは「すべて命あるものに愛を」の理念の下、動物につらい思いをさせないよう日々活動するボランティアグループです。

現在いろいろな立場の人が努力しているにもかかわらず、行政による殺処分は依然として行われ、そのことに多くの人の心は傷つけられています。特に、子どもへの悪影響は測り知れません。

「すべて命あるもの」に当然「人」を含むとする当会としては、看過できない状況と認識し、数年前、同じタイトルでアンケートを実施させていただきました。（『動物ジャーナル45』並びに『46』、又は当会ホームページ [TOP] → [活動報告] 2004年3月及び7月の項ご参照）

そのきっかけは、長崎県森山町(当時)の「行政が不妊手術を実施する」という出来事に触発され、「如何にして行政の不妊手術実施は可能か」を探りたかったからです。

先のアンケートでは、持込まれる子犬子猫の数を訊ね、不用意な繁殖に対する不妊手術の勧奨の有無に注目しました。残念ながら行政の不妊手術への取組みは極めて消極的でした。

今回も、前回と殆ど同様のお訊ねになりますが、少しでも明るいきざしを見出せるならとの思いがあります。ご多用中恐縮ながら、別紙アンケート用紙にご記入の上、下記へご返事くださるようお願いいたします。

[返信方法] 1 郵送 〒156-0052 世田谷区経堂1-37-10-305
2 ファクシミリ 03-3425-9698
3 電子メール gpca@cool.email.ne.jp (pdfファイル添付にて)

集計結果は、ご返事の有無を含め、当会ホームページ及び当会編集の季刊ムック『動物ジャーナル71』に掲載します。お手数ですが、9月28日までにご返信くださいますよう。

以上

なお、当お願い文とアンケート用紙とは『動物ジャーナル70』に掲載します。同時に当会ホームページにもアップし、ダウンロード可能にしますので、貴自治体内各市町村から直接ご返事いただくこともできます。(その場合でも、殺処分総数は貴自治体からお知らせ下さい。)